

～ 夢を抱き、たくましく次の一步を踏み出す 15 歳の育成 ～ 幼小中一貫教育を推進！

未来へつながる通信 vol.165

発行：令和 6 年 1 月 26 日 袋井市教育委員会

被爆体験伝承者から話を聞く ～市内各小学校で歴史と関連させた平和学習～



戦争や平和について考える

【スライドやパネルを使って説明する高田さん】



【被爆体験談に聞き入る山名小学校 6 年生】

袋井市は 2010 年に「核兵器廃絶平和都市宣言」をし、それに関連して「広島平和祈念式典中学生派遣事業」「被爆体験伝承者招聘事業」を行い、子供たちが戦争や平和について考える機会としてきました。1 月 19 日と 26 日には、市内小学校 6 年生を対象に、広島から招聘した被爆体験伝承者による、社会科の歴史学習と関連させた授業が展開されました。

山名小学校では伝承者の高田直久さんが講師となり授業を行いました。時代背景や戦時中の子供たちの生活の様子から話が始まり、やがて原爆投下後の様子に話が進みます。被爆者の実体験、その後どういう思いで生きてきたか。「苦しみながら死んでいった人たちが、原爆の悲惨さを語り継ぐように私を生かしてくれているような気がする・・・」高田さんの語りに児童たちは身じろぎせず聞き入っていました。

※学校応援市民ボランティアの登録は WEB サイト「ふくろい教育ドットコム」で行えます。 <https://fukuroi-kyouiku.com>

「未来へつながる通信」は、袋井市が進める教育施策について、考え方や関連する取組の様子などを、お知らせするために発行しています。 袋井市教育委員会 教育企画課 未来の教育推進室 86-3221

